

## 子どもや若者が夢をもてる次世代育成支援の計画を

立身万千子

総選挙前の7月、子ども若者育成支援推進法が成立した。この法律に基づく次世代育成支援後期行動計画が、平成23年度から実施される。

計画の推進にあたり、子どもの成長を保障する最善の方策を、どう具体化していくかを質問する。

**問** はじめに市民からの相談の窓口を一本化する、いわゆるワンストップサービスが必要と考える。

**答** 具体策として、子育て支援センターと保健センターのスタッフを配置した相談窓口を地域局に設け、これを本庁に設置予定の児童センターと直結することで一本化の機能を果たすようにしてはどうか。

**問** 地域局には相談員を配置し、JR横手駅前に建設中の公共施設にセンターを設置する予定である。これらをフリーダイヤルでつなげ、保育士・保健師・コーディネーターが連携して、市民からの相談に対応するようにする。

**問** 次代の親の育成という課題についてである。  
健やかな社会生活が困難な



この子たちに夢ある明日を（横手マリア園）

若年の失業者・無業者・ワーキングプア等を救うため、自治体として担うことはなにか。

**答** 現在、若年無業者は、ハローワークよこてへの届出者中、33%・962人と厳しい状況にある。

これに対し、パソコン資格取得講座やコミュニケーション能力養成講座研修の紹介など、就業支援の手立てを講じている。今後も、国や県との連携を図りながら、対策を進めていきたい。

また、国の支援法に基づく計画を策定する中で、子どもや若者支援するネットワークの充実を図っていく。

その他の質問  
○保育サービスの充実

## 二期目を迎えた市長が一番力を注ぎたい政策は

寿松木 孝

**問** 市長のマニフェストには、多岐にわたった政策が示されている。

その中でも、市長自身が一番力を注いで行きたいと考えている政策は何か。

**答** 自治体の長として一番に考えているのは、地域でどのように糧を得るかということである。

当市では、借り物でない産業振興の面からも、まず農業が重要と考えられる。また、現在のこの地域の農業は、雇用を吸収する場としてはまだまだ小さいと思うが、大きな可能性を秘めている。

こうしたことを踏まえながら、広い意味で食を含めた農業振興を、二期目のスタート



増田地域での収穫のようす

としたい。  
そして今ひとつは、将来の横手市のため、財政を維持していかなければならないと考えている。

**問** 経済対策の一環として推進された住宅リフォーム補助事業は、その数字が示す通り相当の経済効果があったと思われる。

このことについての評価と、来年度以降の事業の方向性はどうか。

**答** 事業の実績は、11月末現在で、申請件数544件・補助決定額1億4,958万円である。これによる対象工事費総額は12億円を超えており、補助金額に対して約8倍の効果があった。

市民や関係者からも好評をいただいているところであり、来年度は経済対策枠で考えていく。

その他の質問  
○市長選、市議選結果の分析について  
○農業を軸とした産業振興の具体策は  
○地域局の体制について